

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会 (平成29年度第1回)議事概要

1. 日 時 平成30年3月12日(月) 16:00~17:00

2. 場 所 九段第3合同庁舎 15階 会議室

3. 出席者

[委員長]

屋井 鉄雄 (東京工業大学 環境・社会理工学院教授)

[委員]

大下 茂 (帝京大学 経済学部観光経営学科教授)

谷口 綾子 (筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授)

二村 真理子 (東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授)

牧野 昌子 (特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事)

水野 創 (千葉県経済同友会副代表幹事)

[関東地方整備局]

道路部長 丹羽 克彦

道路計画第一課長 松實 崇博

常総国道事務所長 伊與田 弘樹

4. 議 事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

平成30年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

・ 新規事業候補箇所の選定の考え方

・ 新規事業候補箇所説明資料

国道6号 牛久土浦バイパス(Ⅲ期)

<委員からの主な意見等>

■ 一般国道6号 牛久土浦バイパス(Ⅲ期)

・ 新規事業化について了承。

・ 一層の情報提供に努め、また、必要に応じ数字に注釈を付すなど、よりわかりやすい資料となる様に改善していくことが重要。

・ 記載順序から、地域住民の安全性向上より物流の円滑化による生産性の向上を重視している様に見えるため、工夫してほしい。

・ 本事業が、牛久沼などの内水面を活用した観光や都市型観光としてのワインツーリズムの発展に寄与することに期待する。

- ・ 未事業化区間が繋がってこそ本来のバイパス機能が機能する。
- ・ 物流については時間短縮と共に、信頼性の向上も重要。
- ・ 圏央道の4車化などと併せ、交通ネットワークとして重要な路線であると理解した。
- ・ 現道は渋滞していると感じているため、今後の整備に期待している。

以 上